

沖井委員（自民議連）

平成 31 年 2 月 25 日
教育長 答 弁 実 録
（ 教 育 委 員 会 ）

（問）教育による災害対応力の育成について

各学校ではこれまで必ずしも災害に関する教育は熱心ではなかったのが実情のようであり、これから、教員への啓発、災害に関する授業の進め方、時間の確保など問題は山積していると感じている。

そこで、県教育委員会として、どのようにそうした課題を克服し、子供に災害対応力を身に付けさせようとしているのか教育長に伺う。

（答）

学校における防災教育を進めるに当たりましては、これまでも、教職員に対し、広島气象台などの関係機関による災害への対応事例や過去の災害等を踏まえ、地形図等を活用した自然災害を想定する演習など、実践的な研修を実施し、指導力の向上を図ってきたところでございます。

こうした研修を踏まえ、各学校においては、教科の授業に防災の視点を取り入れ、どのような災害に対しても児童生徒が主体的に判断し、適切な行動ができる能力が育成されるよう、防災教育に取り組んでいるところでございます。

今後とも、教職員の指導力の向上を図りながら、昨年の豪雨災害を受けて作成する防災教育教材も活用し、教科等横断的な視点で授業をはじめ様々な機会をとらえ実践するなど、より効果的な防災教育を学校教育全体で推進し、児童生徒の災害対応力の向上を図ってまいります。